

同時進行型



茨城県つくば市立九重小学校
古内正信

実践テーマ

拡大提示された白地図に書き込みをしたり、教科書や資料集の分布図や写真を確認したりすることを通して、工業地域の広がりや特徴を理解する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 日本地図の白地図を電子黒板に提示し、工業が盛んだと予想される場所に、児童がしるしをつける。(興味・関心を高める)
- 〈展開〉 工業地域分布地図や工業地域の写真を電子黒板で表示し、海沿いの立地や工業地域名を確認する。教科書のグラフ資料を提示し、輸出入との関連を気づかせる。(資料の読み取りを助ける)
- 〈まとめ〉 作業用ワークシートに記入し、数人のシートを電子黒板に表示して、本時のまとめをする。(海沿いの広がりや工業地域名の理解を図る)

本時の展開

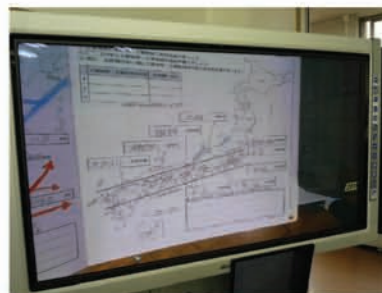
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、手元の日本地図の白地図に予想を書き入れた後、電子黒板上の白地図に書き込みをする(静止画①)。 書き込みを行った児童は、どうしてそのような予想を立てたのか、理由を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●白地図(スキャナー取込画像)
展開	<ul style="list-style-type: none"> 工業地域分布地図や工業地域の写真を電子黒板で表示する(静止画②③)。 分布を赤枠で囲んだり、工業地域名等を記入したりする。 教科書のグラフ資料を提示し、輸出入との関連を気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●工業地域分布地図・工業地域写真(スキャナー取込画像)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 日本の工業地帯・工業地域の分布や名前を作業用ワークシートに書き込む。 児童が記入した複数のワークシートを実物投影機で取り込み、表示する(静止画④)。 表示画像を確認しながらまとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が記入したワークシート



電子黒板上の白地図に書き込みを行うことで、本時の学習への興味を高める



地図や写真を表示しながら、必要な囲い込み線や言葉を書き加える



数人の記入済みシートを表示し、正答確認を行う

児童の反応・効果

- 白地図や写真などを電子黒板に写すことで、児童の目線が上がり、活動への意欲が高まった。
- 電子黒板の白地図上に記入することで、児童が自分の考えを表現することができた。
- 分布図やグラフを拡大提示し、全体で確認することで工業地域の広がりや特徴を理解し易くなった。

活用のポイント

- 工業地域の広がり全体をとらえるための日本地図を掲示、黒板に重要語句を板書、電子黒板に資料やワークシートを表示・考えを記入というように役割分担し、従来のアナログとデジタルの良さを生かすことができる。
- 電子黒板上に書き込みを行う際には、文字・記号の大きさや色、書き込みの量をあらかじめよく考えておくことが大切である。